

2002年（平成14年）2月25日 No. 1219

目次

急成長が続くロシアの携帯電話市場	坂口泉 1
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	10
ロシアに対する貿易保険引受方針について（独）日本貿易保険からのお知らせ	11

## 急成長が続くロシアの携帯電話市場

### はじめに

ロシアの消費市場では、油価高騰の余韻がまだ残っており、好調な状態が続いている。とくに、携帯電話市場の活況ぶりには、驚くべきものがある。多くのアナリストの予測を上回るテンポで加入者数が増加しており、モスクワでは2001年末で加入者数が400万人を超えた (<http://www.sotovik.ru>)。また、今後は地方でも普及率が伸びることが予測されており、モスクワもしくはサンクトペテルブルグを拠点とする大手事業者の中には、全国展開を目指すものも出始めている。

本稿では非常にダイナミックな動きを見せるロシアの携帯電話市場の状況を紹介する。

### 1. 加入者数の推移

第1表からもわかる通り、1999年より加入者数が大幅に増加している。もちろん、1999年後半以降ロシアの主力輸出産品である石油の国際価格が高騰し、ロシアの経済状況が全般的に良くなったという要因も見逃せないが、事業者間の競争が激化し、携帯電話の加入料、維持費が大幅に値下がりしたことが大きかったと思われる。なかでもとくに、加入時にかかる費用が急激に下がったことが大きかったと判断される。

たとえば、1997年春頃は、加入時に最低でも1,000ドル以上を支払う必要があったが、現在は、プリペイド・カード式のものであれば70ドルでの加入が可能となっている。つまり、ほんの4～5年前まで1,000ドルもしていた商品が、わずか70ドルで入手可能になったのである。当然、消費者には非常な割安感があるはずで、そのことが携帯電話市場の裾野の急激な広がりにつながったものと推測される。